

原発事故による放射線被ばく学習会

住民からの放射線被ばくの相談にどのように答えてよいか困っていませんか？ 政府がだしているデータや Q&A に問題はないのでしょうか？

校庭の地表を削って線量を下げる方法をいち早く提案した、放射線防護学の第一人者である野口先生をお招きして、外部被ばくと内部被ばくを少なくする方法や、行政として住民にどのようにこたえていくのがよいのかなど、市民目線で解りやすくお話いただきます。

公衆衛生行政に従事していない方も、また一般の方の参加も歓迎します。費用は無料です。

なお、資料の用意等の関係で、10月13日(木)までに申し込みくださるようお願いいたします。

1. 日時：2011年10月16日(日)
午前10時から12時まで

2. 場所：東京労働会館7階 ラパスホール
東京都豊島区南大塚 2-33-10

3. 内容：講演と質疑応答

・講演：「原発事故と放射能汚染・放射線被ばく」

・講師：野口 邦和 先生 (理学博士)
日本大学歯学部専任講師

専攻：放射化学、放射線防護学、環境放射線学

[ご略歴]

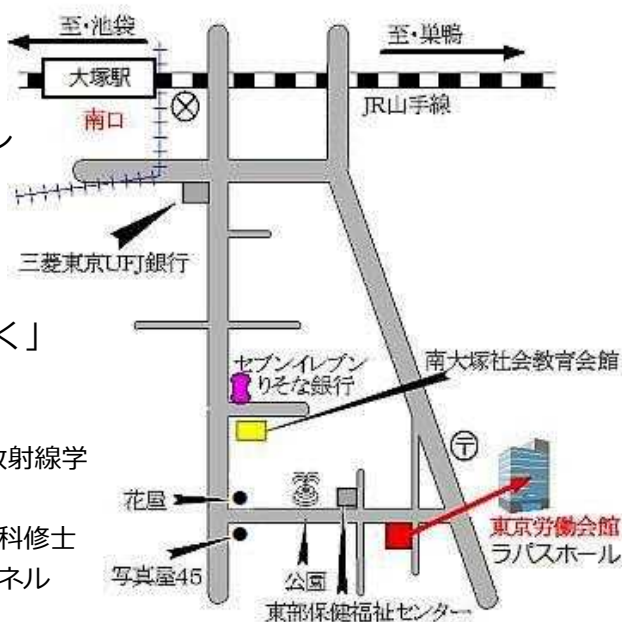
東京教育大学大学院理学研究科修士課程修了。日本科学者会議エネルギー・原子力問題研究委員長
原子力問題情報センター常任理事

[主な著書]

「チェルノブイリ原発事故」「山と空と放射線」「原発・放射能図解データ」「放射能事件ファイル」「放射能のはなし」「放射能汚染から家族を守る 食べ方の安全マニュアル」「放射能からママと子どもを守る本」など



※本年5月19日の第177回国会 青少年問題に関する特別委員会において、「原発事故の子どもへの影響」について、参考人として発言されました。



原発事故による放射線被ばく学習会 参加申込書

送付先 FAX:047-379-6623 市川保健所内 公衆衛生部会事務局 梁瀬苑

お名前	所属・団体名等	連絡先(電話番号)

または、メールで kmsr@rurbannet.ne.jp